

新規事業採択時評価

【海岸事業】

(補助事業等)

- 小田原海岸津波対策緊急事業 1

事業名 (箇所名)	オダワラ 小田原海岸 津波対策緊急事業		担当課	水管理・国土保全局		事業 主体	神奈川県			
実施箇所	オダワラ 神奈川県小田原市		担当課長名	海岸室長 室永 武司		評価 年度	令和6年度			
主な事業 の諸元	護岸改良工 L=1,460m									
事業期間	事業採択	令和7年度	完了	令和13年度						
総事業費 (億円)	14									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>・小田原海岸の背後には住宅地や緊急輸送道路となっている国道1号などが位置しており、当該事業区間では相模灘沿岸海岸保全基本計画に定める防護水準を満たしていないため、津波・高潮による浸水により甚大な被害が発生するおそれがある。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>・小田原海岸(前川地区)において、相模灘沿岸海岸保全基本計画に定める防護水準までの護岸の嵩上げを計画的・集中的に実施し、津波・高潮による浸水被害を軽減し、財産と生命を防護する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <p>・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する</p>									
便益の主な根拠	浸水被害軽減面積: 5.8ha									
事業全体の投資効率性	基準年度		令和5年度							
	B:総便益 (億円)	78	C:総費用(億円)	20	全体B/C (社会的割引率2%) (社会的割引率1%)	3.8 (5.7) (7.1)	B-C	58	EIRR (%)	13.3
感度分析	<p>事業全体のB/C</p> <p>残事業費 (+10% ~ -10%) 3.5~4.2 残工期 (+10% ~ -10%) 3.7~3.9 資産 (-10% ~ +10%) 3.4~4.2</p>									
事業の効果等	当該事業を実施することにより、計画規模の津波・高潮が発生した場合に背後地の浸水を防ぎ、地域住民の生命・財産を守ることができる。また、最大クラスの津波に対しても背後にある緊急輸送道路となっている国道1号の浸水被害が軽減されることから、緊急時の救助や救援等を早急に行うことが可能となる。									
その他	<神奈川県土整備局公共事業評価委員会の意見・反映内容> 令和5年11月に学識経験者に意見聴取を行い、事業計画及び費用対効果分析結果(B/C)について、妥当性を確認した。									

■神奈川県 小田原海岸 位置図

